○委員会の審議結果（要旨）

１．平成２１年シーズン調査結果

○モニタリング調査結果

・平成２１年シーズン工事の配慮対象となるつがいについてモニタリング調査した結果、工事による影響は確認されませんでした。

○生息状況

・平成２１年シーズンは、事業に関連する範囲には、クマタカ７つがい、オオタカ１つがいが確認されました。

・そのうち、クマタカ1つがいは、平成２１年シーズンに新たに定着が確認されたつがいであり、今後、行動圏把握のための詳細調査を実施していく必要があります。

・また、これまで１つがいであった雌雄が、２つのエリアに分かれてそれぞれ別の個体とペアリングし、２つがいが形成されつつあることが確認されました。これらのつがいについても、今後、つがい形成の動向や行動圏把握のための詳細調査を実施していく必要があります。
通常、クマタカは一夫一妻制といわれていますが、その実態は明らかになっていません。しかし、津軽ダムでは写真撮影による個体の特徴の追跡が綿密に行われているため、このようなつがいの解消や新たな個体によるペアリングが明らかになり、学術的に興味深い事例であるとの意見をいただきました。

○繁殖状況

・クマタカは３つがいが繁殖に成功し、幼鳥が１羽ずつ、計３羽の巣立ちが確認されました。

・オオタカは平成１９年１２月に設置した人工巣（誘導巣）において、抱卵まで確認されたものの、孵化までには至りませんでした。

２．平成２２年シーズン工事計画と配慮事項

・平成２２年シーズン工事計画と配慮事項について、配慮指針に沿って、工事時期と繁殖ステージの関係から配慮計画を説明し、了承されました。

・平成２２年シーズン工事の配慮対象となるつがいは、クマタカ４つがい、オオタカ１つがいで、配慮計画は工事終了時期の調整や工事照明の調整、工事の騒音・振動、建設機械の存在に徐々に慣れさせていくコンディショニングを実施します。

・平成２２年シーズンの調査計画は、工事配慮計画の対象つがいのモニタリング調査の他、クマタカの行動圏把握のための詳細調査を実施する予定です。